



松村北斗×上白石萌音×監督・三宅唱×原作・瀬尾まいこ  
ささやかな、でも確かなつながりが照らす、かけがえのない物語

「そして、バトンが渡された」で2019年本屋大賞を受賞した瀬尾まいこの原作小説、『ケイコ 目を澄ませて』が、第72回ベルリン国際映画祭ほか20以上の映画祭に出品、毎日映画コンクール日本映画大賞で日本映画優秀賞・監督賞を受賞するなど、国内外で絶賛を浴びた三宅唱監督が映画化。原作にオリジナルの要素を加え、二人が交流し少しずつお互いの殻を溶かし合っていく姿を、彼らの見つめる日常の美しさや季節の移ろいとともに捉えた。W主演を務めるのは、NHK連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」で夫婦役を演じた松村北斗と上白石萌音。映画としては初共演となる二人が、今回は同僚役で最高の理解者となる特別な関係性を演じる。人生の様々な瞬間に、何度も思い出してしまうような大切な一本になる、令和時代の新たな傑作が誕生した。

「会うことができ、よかった」  
人生は想像以上に大変だけど、  
光だってある——



月に一度、PMS(月経前症候群)でイライラが抑えられなくなる藤沢さんはある日、同僚・山添くんのある小さな行動がきっかけで怒りを爆発させてしまう。だが、転職してきたばかりにもかかわらず、やる気が無さそうに見えていた山添くんもまたパニック障害を抱えていて、様々なことをあきらめて、生きがいも気力も失っていたのだった。職場の人たちの理解に支えられながら、友達でも恋人でもないけれど、どこか同志のような特別な気持ちが芽生えていく二人。いつか、自分の症状は改善されなくても、相手を助けることはできるのではないかと思うようになる。



2.9 FRI いまここにしかない闇と光。すべては移り変わっていく

劇場内での映画の  
撮影・録音は犯罪です  
www.ogakusan.org  
0120-550098



2.9 FRI

yoakenosubete-movie.asmik-ace.co.jp  
X @yoakenosubete @yoakenosubete\_movie

# 夜明けの すべて

松村北斗  
上白石萌音

波川清彦 羊生悠 藤間爽子 久保田磨希 足立智充  
宮川朗太 内田慈 丘みつ子 山野海 斎藤陽一郎

りょう  
光石研

監督：三宅唱  
原作：瀬尾まいこ『夜明けのすべて』(水鈴社/文春文庫刊)  
脚本：和田清人 三宅唱 音楽：Hi Space

思うようにいかない毎日。  
それでも私たちは救いあえる。

all the long nights

製作：河野聡 幸田口新一郎 竹澤浩 中村浩子 津嶋敬介 古賀俊輔 奥村景二 小山洋平 篠原一朗 池田篤郎 宮田昌広 企画・プロデュース：井上竜太 チーフプロデューサー：西川朝子 プロデューサー：城内政芳  
撮影：月永雄太 照明：秋山憲二郎 録音：川井崇清 美術：禰洲幸久 装飾：高木理己 衣裳：篠塚奈美 ヘアメイク：望月志穂美 編集：大川景子 音響効果：岡瀬晶彦 (J.S.A) 助監督：山下久義 制作担当：音井俊哉  
製作：『夜明けのすべて』製作委員会 助成：文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会  
企画・制作：ホリプロ 制作プロダクション：ザファール 配給・宣伝：バンダイナムコフィルムワークス・アスマック・エース

©瀬尾まいこ/2024『夜明けのすべて』製作委員会